

事業名	鉄道対策費			調書番号	16
細事業名	中央線高速化・利便性向上促進事業費	財務コード	121309		
担当部課室	リニア交通 局 交通政策 課 交通活性化 担当 (内線)	1328			

## I 事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(中央東線高速化促進広域期成同盟会)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	JR東日本・国	沿線地域のJR中央線の高速化や利便性向上に関する要望に理解を得る	JR中央線の高速化や利便性向上の実現
内容	<中央東線高速化促進広域期成同盟会> 活動内容:沿線地域の活性化や地域振興に資する、中央線の高速化・利便性向上の実現を図るため、JR東日本及び国に対する要望活動等を実施する。 構成会員:山梨県、長野県、沿線市町村、沿線の関係団体等(91団体) 補助定額:山梨県、長野県 200,000円 沿線市 20,000円 関係市・広域連合 10,000円 町村 5,000円		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	目標	2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績(見込)	2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	達成率	100	100	100	100	100	100	100
	達成区分	b	b	b	b	b	b	b
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算)単位:千円		200	200	200	200	200	200	200

## III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	毎年度1回の総会を実施し、総会で決議された要望項目により、関係機関(国、JR東日本)へ要望活動を行った。
成果指標	b		要望活動を通じた要望項目の達成により、中央本線の高速化及び利便性の向上が果たされている。 【近年の成果】 ・新型特急車両の導入 ・クルーズトレイン四季島の運行 ・Suica利用可能駅の中央本線県内全駅への拡大 等

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補正する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
見直しの余地	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
その他	説明			
見直しの必要性	無	・団体からの負担金などの限られた運営費用の中で、要望項目が複数実現されるなど、一定の効果を出している。 ・中央本線の高速化、利便性向上の実現には、三鷹～立川間の複々線化等の長期的な課題も多く、今後も粘り強い要望活動、継続した事業実施が必要である。 ・同盟会は、県域をまたいだ広域的な団体であり、沿線の県市等が一体となって活動することによって、より効果的な要望活動ができることから現体制を維持することが妥当である。		

## V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。